

<報道提供>

(件名) 熱海伊豆山地区の土石流の発生について (第8報)

(7月6日 6時00分現在)

(静岡県災害対策本部)

1 概況

7月3日、熱海市伊豆山地区において発生した土石流は、逢初川の源頭部の標高約390m地点(海岸から約2km上流)から、逢初川を流下した。土石流により被災した範囲は、延長約1km、最大幅約120mにわたる。

2 県災害対策本部の活動状況

3日12:00 県災害対策本部を設置

15:30 災害救助法施行令第1条第1項第4号の適用を公示

6日06:00 (自衛隊、消防、警察救助活動再開)

3 人的・物的被害の状況 (7月6日 7時00分現在)

(1) 人的被害

現在の安否不明者 24名

安否不明者(64名)を公表後、本人、知人等からの連絡により生存確認 41名

新たに住民登録以外の安否不明者1名の追加情報あり

死者:4名(女性4名)(7月5日19時現在)

救助者:26名(男性12名、女性14名)

うち、負傷者3名(軽傷1名、2名は死亡)

避難者: 指定避難所以外 562名

・ニューフジヤホテル(伊東園) 507名

・ホテルニューアカオ 55名

指定避難所 10名

・第一小学校 10名

(2) 物的被害

被害棟数: 約130棟(127世帯、215名)

4 ライフラインの状況

ガス：熱海市伊豆山の一部で供給停止

水道：熱海市伊豆山の全域で断水（最大1,100件程度）

※応急給水・・・4日から簡易水槽（5カ所）の設置、給水車（4台）によるピストン搬送

通信：正常

電気：伊豆山地区の被災地域の一部で供給不可

5 関係機関の派遣状況

○自衛隊

活動隊	活動人数	備考
陸上自衛隊	<u>1 隊 63名</u>	新幹線北側上流から下流に向けて活動中（消防合同）
	1 隊 <u>73名</u>	新幹線北側下流から上流に向けて活動中
	1 隊 <u>28名</u>	在来線一帯で重機を活用しつつ活動中（警察共同）
	<u>その他</u>	<u>浄水管理センターにて部隊の活動を統制及び支援</u>
	航空部隊 UH-1ヘリ 1 ドローン 3	ヘリポートは浄化センター ドローン 7:00～17:00（常時 3 機飛行） <u>現場上空を映伝</u>
航空自衛隊	50名 ドローン 6 救助犬 5匹	<u>ホテルリゾートピア熱海第2駐車場の北東から南東でドローンを活用しつつ活動中</u>
		<u>ホテルリゾートピア熱海第2駐車場の北東から南東で救助犬を活用しつつ活動中</u>

○消防

消防機関の活動概況

区分	活動隊	活動人数	備考
県内	静岡市消防局 指揮支援隊	1 隊 6 名	熱海市消防本部で活動中
	静岡県大隊	約 40 隊 (約 160 名)	<u>新幹線法面上流で活動</u>

県外	横浜市消防局 統括指揮支援隊	1 隊 7 名	静岡県庁で活動中
	東京都大隊	約 70 隊 (約 330 名)	<u>新幹線法面上流で活動</u>
	神奈川県大隊		<u>新幹線法面下流で活動</u>

- ・ 熱海市消防本部85名・熱海市消防団180名活動中
- ・ 逢初川（あいぞめがわ）
右岸：下流に向かって右側（南西方向）
左岸：下流に向かって左側（北東方向）
- ・ 活動開始（6:00）新幹線北側を重機等活用し重点検索予定。

○海上保安庁

6日「かの」、「いず」計2隻が搜索

○警察

- ・ 本日午前6時から県機動隊、管区機動隊、広域緊急援助隊（警視庁、三重、新潟）が搜索実施
- ・ 広域緊急援助隊交通部隊等16人は、交通規制を5カ所、交通情報収集（オフロードバイク）3台
- ・ 安否確認班10人、遺体収容運営班36人、機動通信班14人

所属		人数
警視庁		168人
新潟県		37人
三重県		24人
静岡県	県機動隊	37人
	管区機動隊	93人

○その他の関係機関の活動状況（7月6日の予定）

機関名	活動状況
内閣府調査チーム	<u>・ ISUTによる災害対応機関の情報集約支援活動</u> <u>・ 日本赤十字社と共に熱海市における医療・保健・福祉のニーズ調査</u>
総務省東海総合通信局	<u>情報通信（特に携帯基地局の状況）、放送の確保に係る情報収集及び関係事業者との調整</u>
国土交通省国土地理院 中部地方測量部	<u>静岡県及び関係機関に対して、災害対応のための地図測量分野における技術的支援を実施</u>

<p>国土交通省 中部地方整備局</p>	<p><u><現場監視></u> <u>・ドローン：砂防調査班②と共に源頭部へ行き、ドローン撮影</u> <u>・照明車：夜間作業として源頭部付近に1台設置稼働。4台は、かんぽの宿（熱海別館）で待機中</u> <u>・監視カメラ：砂防調査班①と残りの2台（中流部右岸、R135号逢初橋付近。2台設置済み）のカメラ設置</u></p> <p><u><現地調査（砂防調査班）></u> <u>・残りの2台のカメラ設置</u> <u>・新規崩落の危険がある箇所をドローン調査</u> <u>ドローン班と同行・連携状況によって砂防調査へ移行</u></p> <p><u><現地調査（港湾班）></u> <u>・ドローンで状況調査</u></p>
<p>日本赤十字社</p>	<p><u>内閣府調査チームと共に熱海市における医療・保健・福祉のニーズ調査</u></p>
<p>D M A T</p>	<p>・国際医療福祉大学熱海病院、熱海保健所、県庁に、県内災害拠点病院から計6チームが参集し活動 <u>・避難住民の健康状態確認のため、避難先のホテルに2チームを派遣</u></p>
<p>林野庁</p>	<p><u>静岡県林務担当部局への技術支援</u></p>